

家庭での聞こえの検査のお知らせ

ご兄弟が検査のじゃまならない時とか、外を自動車が通らない時をみはからい、できるだけ静かな部屋で検査を行ってください。

1 指こすりによる聞こえの検査

検査の方法

- ①子どもの目の前で、親指と人さし指、少し強めにこすって見せます。そして、カサカサという音が聞こえたら、すぐ手をあげるように教えます。
- ②次に、右図のように、親は子どもの後ろに立ちます。そして、子どもの耳の、ま横5cmくらいの所で、指を軽く5～6回こすります。**(親の耳には、音がほとんどとどかない程度の大きさで。)**
- ③最初は右、次に左というように、検査を数回行い、左右別々に、聞こえるかどうかを判断し、結果を記録用紙に記入します。



★指こすりの際、指が見えたり、髪にふれたりしないようにしてください。

2 ささやき声による聞こえの検査

ささやき声の出し方

右図のように、のどに手をあてて「アー」と言ってみてください。指が少しビリビリしますね。今度は、息を吐いてみてください。指がビリビリしませんね。このように、ささやき声とは、息だけで出す小さな声のことで、指がビリビリしません。ないしょ話をする時によく用います。

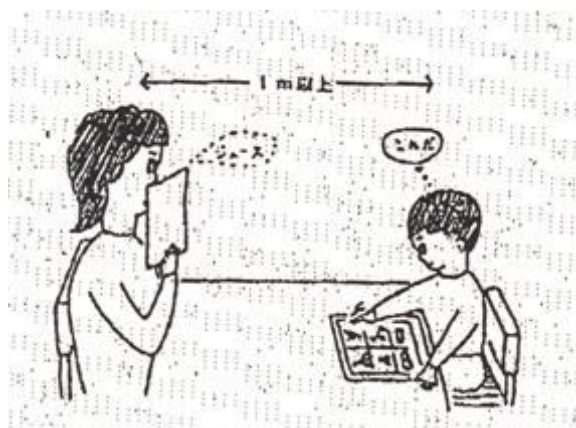
では、のどに手をあてたまま、ささやき声で絵シートの絵の名前を言ってみてください。指がビリビリしなければささやき声になっています。



検査の方法

- ①絵を子どもの方に向けて置き、**1 m以上離れ**、向かい合って座ります。
- ②「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね」と、子どもに言って、普通の声（会話する時の声）で、絵シートのカタカナで表示したとおりに絵の名前を言い、お子さまが6個の絵をすべて正しく指させるよう練習をします。

- ③「今度は小さい声で絵の名前を言うから、よく聞いて指さしてね」と、子どもに言って、右図のように、親はこの用紙で**口をかくし**、6個の絵の名前を、**ささやき声で1回ずつ**言い、（名前をいう順序は自由）、検査の結果を記録用紙【1回目】に記入します。

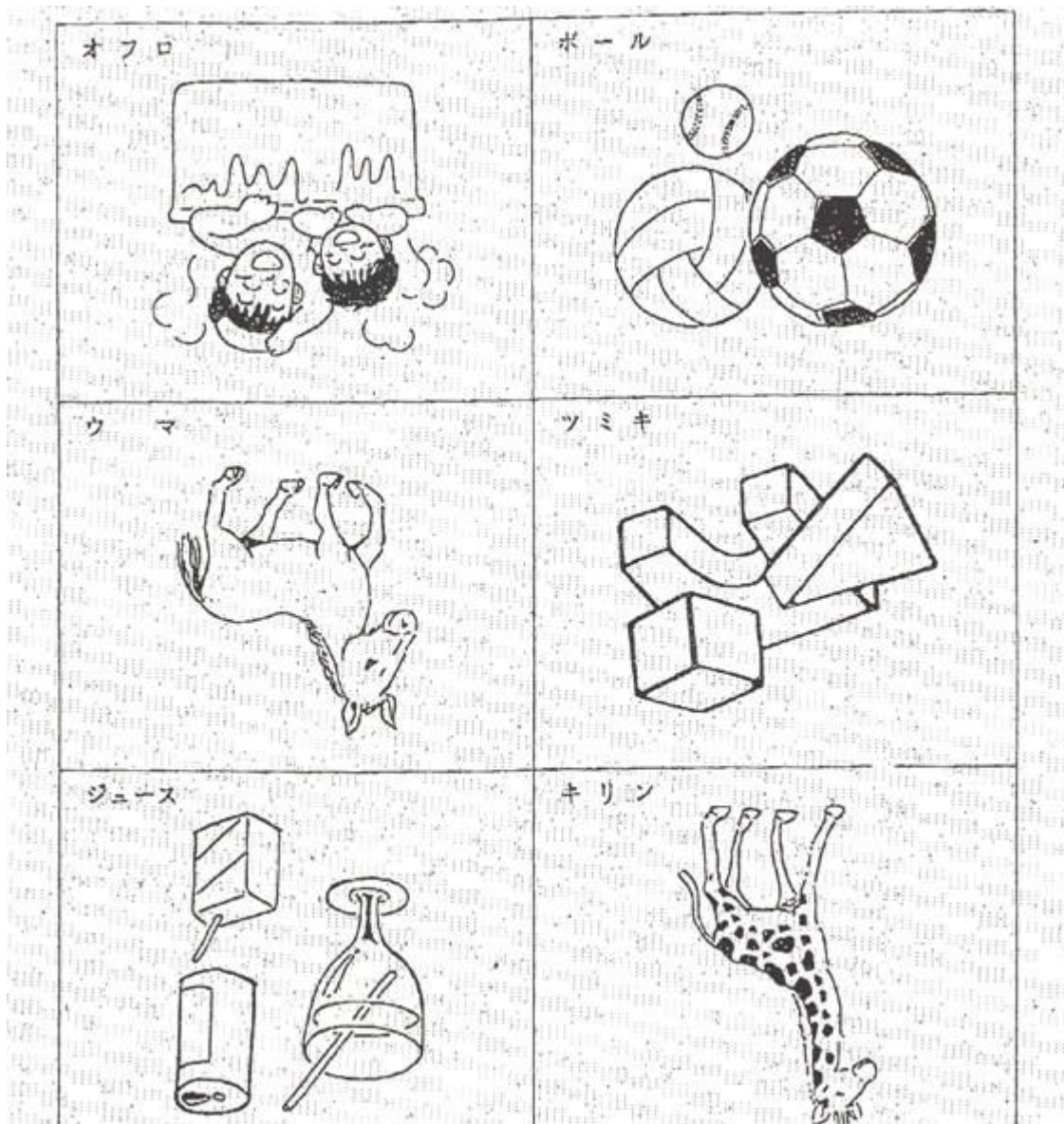


★絵の名前を言うのは1回だけです
から、聞き返されても、**くり返して**
言わないてください。また、
ささやき声が大きくなるよう
に注意してください。

- ④6個の絵の内、1つでも正しく指さしできなかった時は、もう一度検査を行い、結果を【2回目】に記入します。

絵シート

子ども側



母親側

- ③ ①絵を子ども側（文字は母親側）にして、絵シートを置いてください。
- ②検査の説明用紙でお母さんの口をかくし、1 m以上離れて、必ずささやき声で検査を行ってください。
- ③絵シートは大切に保管し、時々聞こえの検査に利用しましょう。